

質 疑 要 旨

馬場弘勝議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 自費解体におけるボトルネックの改善について</p> <p>(1) 自費解体の重要な留意点を建物所有者にご理解いただくため、各市町において説明会を開催すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 建物所有者と解体事業者をマッチングする仕組みをつくるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 家財の一時保管サービスを提供する事業者数や一時保管のスペース、量の確保について十分な体制となっているのか。</p> <p>(4) 自費解体に関するトラブルに対応する相談窓口の設置が必要と考えるが、所見を聞く。</p>	<p>知 事 復旧・復興推進部長 生活環境部長</p>
<p>2 広域避難高齢者等の帰還について</p> <p>(1) 定員を超過して高齢者を受け入れている施設もあるが、震災後8カ月を経過した現状をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 使われていない公共施設等を含め、空き施設を改修して適切なサービスを提供できるようにすべきではないか。</p> <p>(3) 家族の状況や自宅の損壊状況に関わらず、介護を必要とする方の事情に応じた十分な対応をすべきと考えるが、所見を聞く。</p>	<p>知 事 健康福祉部長</p>
<p>3 営業再開支援補助金の活用について</p> <p>(1) コールセンターへの問合せ内容、申請件数を含め、早期の事業再開に向けた事業者の考え、想いをどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 制度を活用することなく廃業を視野に入れている事業者にプッシュ型でアプローチし、活用を促していくべきではないか。</p> <p>(3) 申請期間を令和7年に延長すべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 商工労働部長</p>
<p>4 住宅の応急修理と恒久的な住まいの確保について</p> <p>(1) 被災者データベースを活用し、重点的に準半壊の認定を受けた被災者に対し情報提供することで、応急修理を促進していくべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 応急修理の進捗に関する計画表を作成して進めていくべきと考えるが、所見を聞く。</p>	<p>知 事 土 木 部 長</p>

この質疑要旨は9月17日午後5時55分に取りまとめたものです。

